



世界の変化と既存現実における未来という選択

令和7年4月27日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

既存軍事基盤と経済基盤、社会基盤は未来を求める基盤であり、それが可能とする未来における可能性は存在する。

これらは、外交とともに世界における自己プレゼンスを可能とする唯一の基盤であり、未来という新しい現実への選択なのである。

これらは、他方において未来における新たな約束が存在する。それは新たな技術文明である。

全ての学術性における進歩は、既存世界のシステムを新たに提案できるものである。これらは共有性における世界の基盤を提案する時、公正さというルールがそれを与えるのである。

これらは永続する新しい未来という現実へ世界がその選択を共有する事ができる。これら是对話と合意における新し未来という現実の共有であり、それらは政治における新しい現実の提案である。

これらは、未来における可能性が、選択とともに実現できることを意味するものである。我々のコンサルティングは、唯一未来という希望の提案である。

また経済における実体経済の金融経済における搾取構造は、世界の富の占有は、新たな経済のヒエラルキーを形成するものである。

これらは希望という対話と合意が、新しい世界ヴィジョンやシステムを合意し、新しい世界の実現を提案できるためなのである。

これらは可能性を考査し、それらの実現を行うことは今日新たな技術進歩と宇宙との関係において可能なのである。

これらはその優秀な人材を招集し、それら新たな未来という可能性を英断と決意において実現することは世界との新たな対話において可能なのである。